

**東濃信用金庫は
「岐阜県ワーク・ライフ・バランス
推進エクセレント企業」
に認定されています**

《岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業とは》

岐阜県では、平成１９年度から、従業員の仕事と家庭の両立支援や女性の活躍推進に取り組む企業を「岐阜県子育て支援企業」として登録しています。平成２３年度からその中で、他の模範となる優れた取組を行う企業を「岐阜県子育て支援エクセレント企業」として認定しています。平成２９年７月１日から「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」に名称が変更されています。

《仕事と家庭の両立支援（ワークライフバランス）の取り組み事例》

金庫は、日頃から取り組んでいる仕事と家庭の両立支援や女性の活躍推進について、他の模範となる優れた取組を行う企業であると認められています。簡単ではありますが、金庫が実施している取組をご紹介します。

“カンガルーポケットの会”

育児休暇を取得する女性職員を対象とした職場復帰支援の取組です。子供を連れて参加することが可能であり、多くの職員が参加をしています。

“チームなでしこ～Crystal Ladies in とうしん～”

女性の強みを最大限に生かしながら、女性の力で金庫全体を明るくし、やりがいのある職場、ひいてはお客様や地域に愛される金庫を目指すプロジェクトチームです。毎月１回休日にミーティングを実施し、金庫の改革につながる成果を上げています。

“職員親睦会”

役職員の親睦を目的とした、全職員対象の家族参加型イベント。毎年役職員とその家族約１,０００名参加しており、風通しの良い職場作りを実践しています。



岐阜県子育て支援エクセレント企業

東濃信用金庫

多治見市・金融機関

妊婦や育休経験者を集めた「カンガルーポケットの会」を設立し、育休中のキャリア形成や円滑な職場復帰を促す。また女性社員による「チームなでしこ」を結成し、女性目線の取り組みを行う。

平成27年度
認定

育児中も安心感と自立促す

東濃信用金庫では、妊婦や育休経験者を会員とした「カンガルーポケットの会」を2010年に設立した。会は年6回開催され、子どもの同伴も可能。これまで460人が参加し、社内情報や育児の悩みを共有する場になっている。初参加の加藤麻美さん(26)は、「復

婦に不安があったが、経験者の話のために「安堵の表情を見せる。さらに会では、復帰後の心構えも啓発。人事部人事開発課の横山幸子さん(47)は「特別な配慮があつて当然ではなく、周囲に感謝の心を持つことが大切」と話し、仕事への責任感を促す。

また育児中も仕事へ向かう感覚を維持するため、パソコンによる通帳作成などの研修を実施し、キャリア形成への意識付けも行う。子連れで参加した野木森聡子さん(29)は「育休中も会社とのつながりを実感できる」と、ブランクへの不安軽減にもつながっているようだ。こうした取り組みの結果、2014年からの1年間で、育休を経て26人がフィナンシャルプランナーなどの資格を取得した。

2014年には女性社員による「チームなでしこ」を公募し、現在

13人が活動中。2015年には地域イベントへの出展を企画し、アンケートや個別相談を行って成約に結び付けた。同社では女性職員を対象に座談会なども実施しており、コミュニケーションの活性化と、女性のさらなる活躍をバックアップする。



妊娠6ヶ月の加藤麻美さんは、今回初めてカンガルーポケットの会に参加。(左から3人目)



「チームなでしこ」が女性社員を対象に座談会を企画。交流を図り女性の活躍を支援する。